

Claim 1. A television tuner input circuit comprising:

a parallel resonance circuit, composed of a capacitor and a first inductor, one end of which is connected to an input terminal;

an input tuning circuit which is connected to another end of the parallel resonance circuit and can be switched between low band VHF and high band VHF to tune to frequencies in each band; and

a varactor diode which is non-conductive in receiving near-by television signals whose frequency is closest to an FM broadcasting band and conductive in receiving other television signals,

wherein one end of the varactor diode is connected to one end of the parallel resonance circuit and another end is connected to another end of the parallel resonance circuit through a second inductor with a very small inductance,

wherein a resonance frequency of a parallel connection circuit between the varactor diode and the parallel resonance circuit with the diode being non-conductive is set to the same frequency as the frequency of the FM broadcasting band; and

wherein a resonance frequency of a parallel connection circuit between the second inductor and the parallel resonance circuit with the varactor diode being conductive is set to a frequency higher than the high band.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-156593

(P2001-156593A)

(43) 公開日 平成13年6月8日(2001.6.8)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テームト* (参考)

H 0 3 J 5/24

H 0 3 J 5/24

D 5 C 0 2 5

H 0 4 B 1/18

H 0 4 B 1/18

C 5 J 1 0 3

H 0 4 N 5/44

H 0 4 N 5/44

K 5 K 0 6 2

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号

特願平11-341684

(22) 出願日

平成11年12月1日(1999.12.1)

(71) 出願人 000010098

アルプス電気株式会社

東京都大田区雪谷大塚町1番7号

(72) 発明者 山本 正喜

東京都大田区雪谷大塚町1番7号 アルプス電気株式会社内

(72) 発明者 古田 敏朗

東京都大田区雪谷大塚町1番7号 アルプス電気株式会社内

Fターム(参考) 5C025 AA25 BA18 BA24

5J103 AA07 CA04 CB05 DA00 DA41

EA04 EA05 EA08 KA02

5K062 AA06 AA07 AC02 AD04 BA03

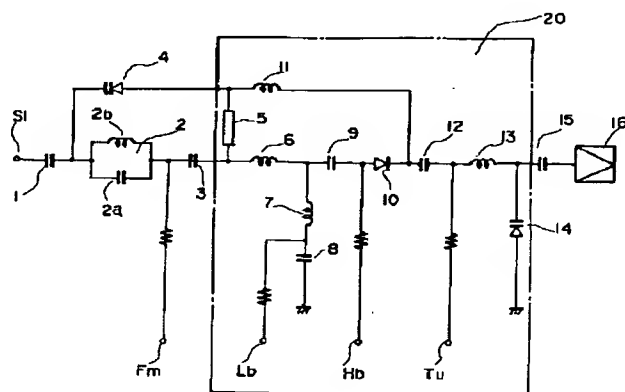
BB03 BB09 BB13 BE00 BF07

(54) 【発明の名称】 テレビジョンチューナの入力回路

(57) 【要約】

【課題】 本発明はVHFハイバンド信号受信時に、VHFハイバンド帯域内での不要な減衰を生じさせず、N F、入力感度、S/N等の性能を悪化させることのないテレビジョンチューナの入力回路を提供する。

【解決手段】 並列共振回路2とその出力に接続された入力同調回路20とを備え、並列共振回路2に並列にバラクタダイオード4を設け、並列共振回路2と非導通時のバラクタダイオード4とによる並列接続回路の共振周波数をFM放送帯の周波数に設定し、またバラクタダイオード4の導通時における第二のインダクタ5と並列共振回路2との並列接続回路の共振周波数がVHFハイバンドの帯域よりも高い周波数になるように、コンデンサ2aの容量値を設定した。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンデンサと第一のインダクタとからなり、一端が入力端に接続された並列共振回路と、前記並列共振回路の他端に接続され、VHF 帯のローバンドとハイバンドとに切り替えられて、各バンドの周波数に同調可能な入力同調回路と、FM 放送帯に最も近い周波数の近接テレビジョン信号を受信する時に非導通となり、その他のテレビジョン信号を受信する時に導通となるバラクタダイオードとを備え、前記バラクタダイオードの一端を前記並列共振回路の一端に接続すると共に、他端を微小インダクタンスを有する第二のインダクタを介して前記並列共振回路の他端に接続し、非導通時の前記バラクタダイオードと前記並列共振回路との並列接続回路の共振周波数を前記 FM 放送帯の周波数に設定し、前記バラクタダイオードの導通時における前記第二のインダクタと前記並列共振回路との並列接続回路の共振周波数を前記ハイバンドの帯域よりも高い周波数に設定したことを特徴とするテレビジョンチューナの入力回路。

【請求項 2】 前記入力同調回路は二つのローバンド同調インダクタを有し、前記並列共振回路と前記バラクタダイオードと前記二つのローバンド同調インダクタとをプリント基板上に配設し、前記並列共振回路の他端と前記バラクタダイオードの他端と前記二つのローバンド同調インダクタの各一端とを相互に接続するための導体ランドを前記プリント基板上に設け、前記二つのローバンド同調インダクタを前記導体ランドによって直列に接続すると共に、前記導体ランドによって前記第二のインダクタを構成したことを特徴とする請求項 1 に記載のテレビジョンチューナの入力回路。

【請求項 3】 前記直列に接続された二つのローバンド同調インダクタの両端間に接続されたスイッチング用のダイオードと、前記バラクタダイオードのカソードに直流的に接続された第一の端子と、前記バラクタダイオードのアノードと前記スイッチング用のダイオードのカソードとに直流的に接続された第二の端子と、前記スイッチング用のダイオードのアノードに直流的に接続された第三の端子とを設け、前記近接テレビジョン信号を受信する時には、前記第一の端子と前記第二の端子とにそれぞれバイアス電圧を印加して、前記第三の端子を接地し、また前記近接テレビジョン信号以外のローバンドのテレビジョン信号を受信する時には、前記第二の端子に前記バイアス電圧を印加し、前記第一の端子と前記第三の端子を接地し、そしてハイバンドのテレビジョン信号を受信する時には、前記第三の端子にバイアス電圧を印加し、前記第一の端子と前記第二の端子を接地して、受信する各バンドを切り替えられるようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載のテレビジョンチューナの入力回路。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はテレビジョンチューナの VHF 高周波入力回路に係わる。

【0002】

【従来の技術】 従来のテレビジョンチューナの VHF 高周波入力回路の構成について、図 3 を参照して説明する。入力端 S1 には直流阻止用のコンデンサ 31 を介して FM トラップ回路 32 の一端が接続されている。

【0003】 FM トラップ回路 32 はコンデンサ 32a とインダクタ 32b とで並列共振回路を構成し、FM 放送信号の周波数に共振している。FM トラップ回路 32 の他端には直流阻止用のコンデンサ 33 を介して、インダクタ 36 とインダクタ 37 とが直列に接続され、インダクタ 37 の他端は、直流阻止用のコンデンサ 38 を介して接地されている。

【0004】 更にインダクタ 36 とインダクタ 37 との接続点には、直流阻止用のコンデンサ 39 を介してスイッチング用のダイオード 40 のアノードが接続されている。そして、ダイオード 40 のカソードには直流阻止用のコンデンサ 42 を介してインダクタ 43 の一端が接続されている。インダクタ 43 の他端には、同調用のバラクタダイオード 44 のカソードが接続されており、そのアノードは接地されている。また、インダクタ 43 の他端は直流阻止用のコンデンサ 45 を介して高周波増幅器 46 に接続されている。

【0005】 また、FM トラップ回路 32 の一端には、スイッチング用のダイオード 34 のカソードが接続されている。そして、ダイオード 34 のアノードは、インダクタ 41 の一端に接続されると共に、直流阻止用のコンデンサ 33 とインダクタ 36 との接続点に接続される。またインダクタ 41 の他端はダイオード 40 のカソードに接続されている。

【0006】 そして、ダイオード 34 及び 40 のバイアス電圧印加用として、FM トラップ回路 32 の他端には抵抗を介して端子 Fm が接続され、インダクタ 37 の他端には抵抗を介して端子 Lb が接続され、スイッチング用のダイオード 40 のアノードには抵抗を介して端子 Hb が接続されている。またバラクタダイオード 44 の同調電圧印加用として、インダクタ 43 の一端に抵抗を介して端子 Tu が接続されている。

【0007】 次に、従来のテレビジョンチューナの入力同調回路の動作について説明する。FM 放送帯に最も近い周波数の近接テレビジョン信号を受信する時には、端子 Lb 及び Fm にそれぞれ電圧 V_{lo} 及び V_{fm} ($V_{fm} > V_{lo}$) を与え、スイッチング用のダイオード 34 に逆バイアス電圧を印加することによって、これを非導通とし、FM トラップ回路 32 を働かせて FM 放送信号を減衰させる。同時に、端子 Hb を接地し、スイッチング用のダイオード 40 にも逆バイアス電圧を印加することによって、これも非導通とする。また、バラクタダイオード 44 に端子 Tu から電圧 V_{tu} を印加する。この

ことにより、互いに直列に接続されたインダクタ 36 とインダクタ 37、及び互いに直列に接続されたインダクタ 41 とインダクタ 43 とによるインダクタンスとバラクタダイオード 44 の容量とにより、受信された信号の周波数に同調させ、その出力信号を高周波増幅器 46 に伝送する。

【0008】また、FM 放送帯に最も近い周波数の近接テレビジョン信号以外の VHF ローバンド受信時には、端子 Fm を接地し、端子 Lb にバイアス電圧 Vlo を加えることによって、スイッチング用のダイオード 34 を導通させて FM トラップ回路 32 のバイパス経路とさせる。同時に、端子 Hb を接地し、スイッチング用のダイオード 40 に逆バイアス電圧を印加することによって、これを非導通とする。このことにより、上記と同様に、互いに直列に接続されたインダクタ 36 とインダクタ 37、及び互いに直列に接続されたインダクタ 41 とインダクタ 43 とによるインダクタンスとバラクタダイオード 44 の容量とにより、受信された信号の周波数に同調させ、その出力信号を高周波増幅器 46 に伝送する。

【0009】そして、VHF ハイバンド受信時には、端子 Fm を接地し、端子 Hb にバイアス電圧 Vhi を加えることによって、スイッチング用のダイオード 34 を導通させて FM トラップ回路 32 のバイパス経路とさせる。同時に、端子 Lb を接地し、スイッチング用のダイオード 40 にバイアス電圧を印加することによって、これを導通させる。このことにより、インダクタ 37 とインダクタ 43 とによるインダクタンスとバラクタダイオード 44 の容量とにより、受信された信号の周波数に同調させ、その出力信号を高周波増幅器 46 に伝送する。

【0010】

【発明が解決しようとする課題】上記のような従来のテレビジョンチューナでは、ダイオード 34 とコンデンサ 33 とインダクタ 36 とインダクタ 41 とが相互に接続されるが、これらの接続はプリント基板上に設けた導体ランドによってなされている。そして導体ランドが大きくなることから、そのインダクタンスが無視できない。VHF ハイバンド受信時における FM トラップ回路 32 側に注目した導体ランド部分の等価回路は図 4 で示される。即ち、上記導体ランドによって微小インダクタンスを有するインダクタ 47 がダイオード 34 のアノードとコンデンサ 33 の他端との間に介在する。そのため以下のような問題が発生する。

【0011】VHF ハイバンド受信時には、前述したように、FM トラップ回路 32 に受信信号を伝送させず、スイッチング用ダイオード 34 を導通させる。しかしながら、この時ダイオード 34 には微小インダクタンスを有するインダクタ 47 が直列に接続されている。従って、これが FM トラップ回路 32 に並列に接続されてしまう。尚ここで、コンデンサ 33 の容量値はコンデンサ 32a の容量値に比べて、非常に大きいため無視でき

る。また、インダクタ 32b のインダクタンスもインダクタ 47 のインダクタンスに比べて、非常に大きいため無視できる。

【0012】従って、上記の結果からコンデンサ 32a とインダクタ 47 とによる並列共振回路が構成される。そして、FM トラップ周波数のために設定したコンデンサ 32a の容量と、インダクタ 47 の微小インダクタンスとによるこの並列共振回路の共振周波数は、受信している VHF ハイバンドの周波数帯域に存在する。このため、受信した VHF ハイバンドの信号がこの共振周波数付近で減衰を受け、NF、入力感度、S/N 等の特性が悪化させてしまっていた。

【0013】そこで本発明は VHF ハイバンド受信時に、受信した VHF ハイバンドの信号が減衰を受けず、NF、入力感度、S/N 等の特性に影響を与えないテレビジョンチューナを提供することを目的とするものである。

【0014】

【課題を解決するための手段】本発明は前記課題を解決するためのもので、コンデンサと第一のインダクタとからなり、一端が入力端に接続された並列共振回路と、前記並列共振回路の他端に接続され、VHF 帯のローバンドとハイバンドとに切り替えられて、各バンドの周波数に同調可能な入力同調回路と、FM 放送帯に最も近い周波数の近接テレビジョン信号を受信する時に非導通となり、その他のテレビジョン信号を受信する時に導通となるバラクタダイオードとを備え、前記バラクタダイオードの一端を前記並列共振回路の一端に接続すると共に、他端を微小インダクタンスを有する第二のインダクタを介して前記並列共振回路の他端に接続し、非導通時の前記バラクタダイオードと前記並列共振回路との並列接続回路の共振周波数を前記 FM 放送帯の周波数に設定し、前記バラクタダイオードの導通時における前記第二のインダクタと前記並列共振回路との並列接続回路の共振周波数を前記ハイバンドの帯域よりも高い周波数に設定した。

【0015】前記入力同調回路は二つのローバンド同調用インダクタを有し、前記並列共振回路と前記バラクタダイオードと前記二つのローバンド同調用インダクタとをプリント基板上に配設し、前記並列共振回路の他端と前記バラクタダイオードの他端と前記二つのローバンド同調用インダクタの各一端とを相互に接続するための導体ランドを前記プリント基板上に設け、前記二つのローバンド同調用インダクタを前記導体ランドによって直列に接続すると共に、前記導体ランドによって前記第二のインダクタを構成した。

【0016】前記直列に接続された二つのローバンド同調用インダクタの両端間に接続されたスイッチング用のダイオードと、前記バラクタダイオードのカソードに直流的に接続された第一の端子と、前記バラクタダイオード

ドのアノードと前記スイッチング用のダイオードのカソードとに直流的に接続された第二の端子と、前記スイッチング用のダイオードのアノードに直流的に接続された第三の端子とを設け、前記近接テレビジョン信号を受信する時には、前記第一の端子と前記第二の端子とにそれぞれバイアス電圧を印加して、前記第三の端子を接地し、また前記近接テレビジョン信号以外のローバンドのテレビジョン信号を受信する時には、前記第二の端子に前記バイアス電圧を印加し、前記第一の端子と前記第三の端子を接地し、そしてハイバンドのテレビジョン信号を受信する時には、前記第三の端子にイアス電圧を印加し、前記第一の端子と前記第二の端子を接地して、受信する各バンドを切り替えられるようにした。

【0017】

【発明の実施の形態】本発明のテレビジョンチューナについて図1を参照して説明する。入力端S1には直流阻止用のコンデンサ1を介して、互いに並列に接続されたコンデンサ2aと第一のインダクタ2bとによる並列共振回路2の一端が接続されている。並列共振回路2の他端には直流阻止用のコンデンサ3を介して入力同調回路20が接続される。入力同調回路20は二つのローバンド同調用インダクタ6及び11、二つのハイバンド同調用インダクタ7及び13、スイッチング用のダイオード10、同調用の第一のバラクタダイオード14等を有している。そしてコンデンサ3にローバンド同調用インダクタ6とハイバンド同調用インダクタ7とが直列に接続され、ハイバンド同調用インダクタ7は、直流阻止用のコンデンサ8を介して接地されている。

【0018】更にローバンド同調用インダクタ6とハイバンド同調用インダクタ7との接続点には、直流阻止用のコンデンサ9を介してスイッチング用のダイオード10のアノードが接続されている。そして、ダイオード10のカソードには直流阻止用のコンデンサ12を介してハイバンド同調用インダクタ13の一端が接続されている。ハイバンド同調用インダクタ13の他端には、同調用の第一のバラクタダイオード14のカソードが接続されており、そのアノードは接地されている。また、ハイバンド同調用インダクタ13の他端は直流阻止用のコンデンサ15を介して高周波増幅器16に接続されている。

【0019】また、コンデンサ1と並列共振回路2との接続点には、第二のバラクタダイオード4のカソードが接続されている。そして、第二のバラクタダイオード4のアノードには、ローバンド同調用インダクタ11の一端が接続され、その他端はダイオード10のカソードに接続されている。また、コンデンサ3とローバンド同調用インダクタ6との接続点と、第二のバラクタダイオード4のアノードとインダクタ11との接続点との間は微小インダクタンスを有する第二のインダクタ5を介して接続されている。

【0020】この結果、第二のバラクタダイオード4は並列共振回路2に並列接続されるが、この時の第二のバラクタダイオード4の容量とコンデンサ2aと第一のインダクタ2bとによる並列接続回路の共振周波数がFM放送帯の周波数になるように設定する。また、四つのインダクタ7、6、11、13が直列に接続されると共に、ローバンド同調用インダクタ6とハイバンド同調用インダクタ7との接続点とローバンド同調用インダクタ11とハイバンド同調用インダクタ13との接続点との間がダイオード10で接続される。

【0021】尚、第二のインダクタ5は、図2に示すように第二のバラクタダイオード4とコンデンサ3とローバンド同調用インダクタ6とローバンド同調用インダクタ11とを相互に接続するための導体、例えばプリント基板21上に設けた導体ランド22によって構成してもよい。

【0022】そして、第二のバラクタダイオード4及びスイッチング用のダイオード10のバイアス電圧印加用として、並列共振回路2の他端には抵抗を介して第一の端子(Fm)が接続され、ハイバンド同調用インダクタ7の他端には抵抗を介して第二の端子(Lb)が接続され、スイッチング用のダイオード10のアノードには抵抗を介して第三の端子(Hb)が接続され、第一のバラクタダイオード14の同調電圧印加用として、インダクタ13の一端に抵抗を介して第四の端子(Tu)が接続されている。

【0023】次に、本発明のテレビジョンチューナの入力回路の動作について説明する。FM放送帯に最も近い周波数の近接テレビジョン信号を受信する時には、第一の端子(Fm)及び第二の端子(Lb)にそれぞれ電圧Vfm及びVlo($Vfm > Vlo$)を与え、第二のバラクタダイオード4に、電圧Vfmと電圧Vloとの差の電圧を、逆バイアス電圧として印加し、第二のバラクタダイオード4を非導通とする。これにより、入力されたFM放送信号が減衰される。

【0024】また同時に、第三の端子(Hb)を接地し、スイッチング用のダイオード10に電圧Vloの逆バイアス電圧を印加することによって、これを非導通とする。また、第一のバラクタダイオード14に第四の端子(Tu)から電圧Vtuを印加する。このことにより、互いに直列に接続されたローバンド同調用インダクタ6とハイバンド同調用インダクタ7、及び直流阻止用のコンデンサ12を介して互いに直列に接続されたローバンド同調用インダクタ11とハイバンド同調用インダクタ13とによるインダクタンスと、第一のバラクタダイオード14の容量とにより、受信された信号の周波数に同調させ、その出力信号を高周波増幅器16に伝送する。

【0025】また、近接テレビジョン信号以外のVHFローバンド受信時には、第一の端子(Fm)を接地し、

第二の端子(Lb)にバイアス電圧 V_{lo} を加えることによって、第二のバラクタダイオード4を導通させる。同時に、第三の端子(Hb)を接地し、スイッチング用のダイオード10に逆バイアス電圧を印加することによって、これを非導通とする。また、第一のバラクタダイオード14に端子Tuから電圧 V_{tu} を印加する。このことにより、上記と同様に、互いに直列に接続されたローバンド同調用インダクタ6とハイバンド同調用インダクタ7、及び互いに直列に接続されたローバンド同調用インダクタ11とハイバンド同調用インダクタ13とによるインダクタンスと、第一のバラクタダイオード14の容量とにより、受信された信号の周波数に同調させ、その出力信号を高周波増幅器16に伝送する。

【0026】そしてまた、VHFハイバンド受信時には、第二の端子(Lb)を接地し、第三の端子(Hb)にバイアス電圧 V_{hi} を加えることによって、第二のバラクタダイオード4を導通させる。同時に、第一の端子(Fm)を接地して第二のバラクタダイオード4を導通させる。このことにより、ハイバンド同調用インダクタ7とハイバンド同調用インダクタ13とによるインダクタンスとバラクタダイオード14の容量とにより、受信された信号の周波数に同調させ、その出力信号を高周波増幅器46に伝送する。

【0027】しかしこの時、第二のインダクタ5が、導通している第二のバラクタダイオード4を介して、並列共振回路2に並列に接続される形で存在している。このため、コンデンサ2aと第二のインダクタ5とによって、新たな並列共振回路を構成する。(ここで、コンデンサ3とインダクタ2bはそれぞれコンデンサ2aと第二のインダクタ5に比べて、非常に大きいため無視できる。)

【0028】しかしながら、本発明では、非導通時のバラクタダイオード4と並列共振回路2との並列接続回路の共振周波数をFM放送帯の周波数に設定し、またバラクタダイオード4の導通時における第二のインダクタ5と並列共振回路2との並列接続回路の共振周波数がVHFハイバンドの帯域よりも高い周波数になるように、コンデンサ2aの容量値を設定している。従って、この新たな並列共振回路の共振周波数が、受信しているVHFハイバンドの周波数帯域内には存在しない。従って、受信したVHFハイバンドの信号がこの共振周波数付近で減衰を受けることはなく、NF、入力感度、S/N等の特性を悪化させることはない。

【0029】

【発明の効果】以上述べたように、本発明に係わるテレビチューナの入力回路は、一端が入力端に接続されたコンデンサと第一のインダクタとからなる並列共振回路と、この並列共振回路の他端に接続され、VHF帯のローバンドとハイバンドとに切り替えられて、各バンドの周波数に同調可能な入力同調回路と、FM放送帯に最も

近い周波数の近接テレビジョン信号を受信する時に非導通となり、その他のテレビジョン信号を受信する時に導通となるバラクタダイオードとを備え、前記バラクタダイオードの一端を前記並列共振回路の一端に接続すると共に、他端を微小インダクタンスを有する第二のインダクタを介して前記並列共振回路の他端に接続し、非導通時の前記バラクタダイオードと前記並列共振回路との並列接続回路の共振周波数を前記FM放送帯の周波数に設定し、前記バラクタダイオードの導通時における前記第二のインダクタと前記並列共振回路との並列接続回路の共振周波数を前記ハイバンドの帯域よりも高い周波数に設定したことにより、受信しているVHFハイバンドの周波数帯域内に、前記並列接続回路の共振周波数が存在しないため、受信したVHFハイバンドの信号がこの共振周波数付近で減衰を受けることはなく、NF、入力感度、S/N等の特性を悪化させることはない。

【0030】前記入力同調回路は二つのローバンド同調用インダクタを有し、前記並列共振回路と前記バラクタダイオードと前記二つのローバンド同調用インダクタとをプリント基板上に配設し、前記並列共振回路の他端と前記バラクタダイオードの他端と前記二つのローバンド同調用インダクタの各一端とを相互に接続するための導体ランドを前記プリント基板上に設け、前記二つのローバンド同調用インダクタを前記導体ランドによって直列に接続すると共に、前記導体ランドによって前記第二のインダクタを構成したことにより、従来の構成に対して新たな回路素子の追加を必要としない。

【0031】前記直列に接続された二つのローバンド同調用インダクタの両端間に接続されたスイッチング用のダイオードと、前記バラクタダイオードのカソードに直流的に接続された第一の端子と、前記バラクタダイオードのアノードと前記スイッチング用のダイオードのカソードとに直流的に接続された第二の端子と、前記スイッチング用のダイオードのアノードに直流的に接続された第三の端子とを設け、前記近接テレビジョン信号を受信する時には、前記第一の端子と前記第二の端子とにそれぞれバイアス電圧を印加して、前記第三の端子を接地し、また前記近接テレビジョン信号以外のローバンドのテレビジョン信号を受信する時には、前記第二の端子に前記バイアス電圧を印加し、前記第一の端子と前記第三の端子を接地し、そしてハイバンドのテレビジョン信号を受信する時には、前記第三の端子にバイアス電圧を印加し、前記第一の端子と前記第二の端子を接地して、受信する各バンドを簡単に切り替えられるようにした。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるテレビジョンチューナの入力回路の一実施例を示す回路図である。

【図2】本発明によるテレビジョンチューナの入力回路の一実施例を示す説明図である。

【図3】従来のテレビジョンチューナの入力回路の一実

施例を示す回路図である。

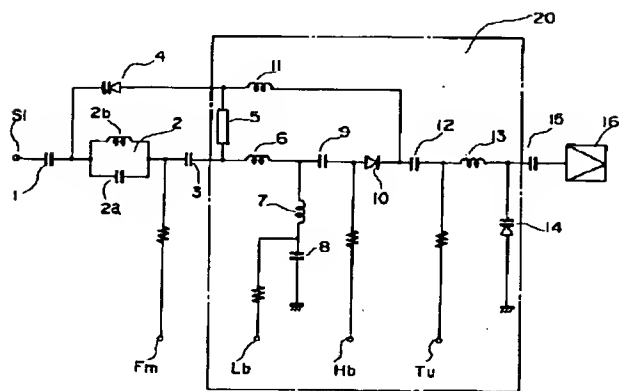
【図4】従来のテレビジョンチューナの入力回路の一実施例を示す回路図である。

【符号の説明】

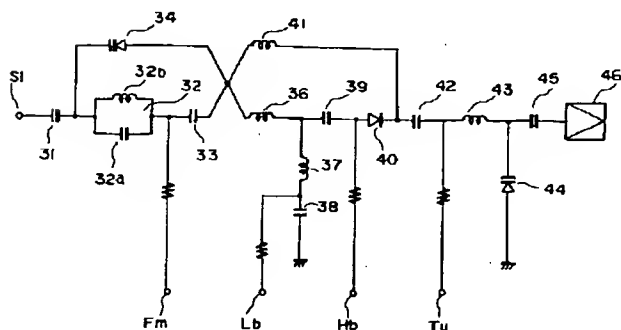
- 1 コンデンサ
- 2 並列共振回路
- 2 a コンデンサ
- 2 b 第一のインダクタ
- 3 コンデンサ
- 4 第二のバラクタダイオード
- 5 第二のインダクタ
- 6 ローバンド同調用インダクタ
- 7 ハイバンド同調用インダクタ
- 8 コンデンサ
- 9 コンデンサ
- 10 スwitching用のダイオード
- 11 ローバンド同調用インダクタ
- 12 コンデンサ
- 13 ハイバンド同調用インダクタ
- 14 第一のバラクタダイオード
- 15 コンデンサ
- 16 高周波増幅器

- 20 入力同調回路
- 21 プリント基板
- 22 導体ランド
- 31 コンデンサ
- 32 FMトラップ回路
- 32 a コンデンサ
- 32 b インダクタ
- 33 コンデンサ
- 34 ダイオード
- 36 インダクタ
- 37 インダクタ
- 38 コンデンサ
- 39 コンデンサ
- 40 ダイオード
- 41 インダクタ
- 42 コンデンサ
- 43 インダクタ
- 44 バラクタダイオード
- 45 コンデンサ
- 46 高周波増幅器
- 47 インダクタ

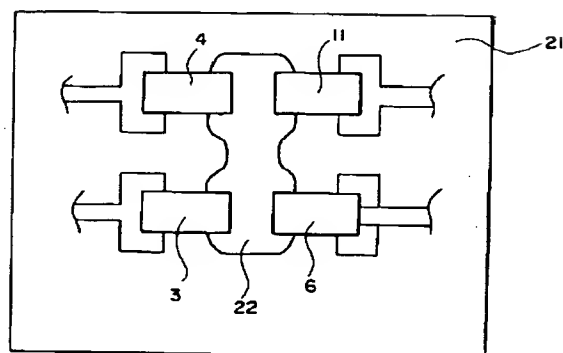
【図1】



【図3】



【図2】



【図4】

